

南風

津島市立南小学校 校長室だより 第23号
平成28年3月17日（月2回発行）通算47号
南小HP 『南風』 ダイジェスト版
※ 合わせて南小学校HPをご覧ください

卒業していく君たちへ

卒業おめでとう。2年間のつきあいでしたが、皆さんは、私が校長として四度目に送り出す卒業生です。今日は4つの言葉をプレゼントしたいと思います。

春風や 闘志いだきて 丘に立つ （高浜虚子）

これからの皆さんの人生は、自分にとって都合のよいことばかり起きるわけではありません。むしろ、皆さん一人一人にとって大変つらい場面と出会うこともあると思います。その時、ほんの少しのユーモアをもち、自分のまわりを見渡すことができるかどうか、それが人生の別れ目となります。どうかその時、逆風に負けないでくださいね。

この俳句は、いろいろな経験をした虚子が、いよいよ自分の人生のすべてを俳句にかけようと決意した句です。どのようなことも、前向きに考えていこうとする思いが前面に出ているようで、私の大好きな俳句です。

新たにチャレンジする時、勝負をかける時、どうか思い出してほしい句です。

人生の実力とは、どのような状況となっても、その状況を幸せと思える力

人の一生にも「耐える時期」と「飛躍する時期」とがあります。何事もうまくいかないとき、どうか地中深く根を張って、花を咲かせ、実をつける時期を待つてほしいと思います。

私は徳川家康を尊敬しています。それは右の絵を見てから、尊敬するようになりました。この絵は徳川家康が三方ヶ原の戦いで武田信玄にやぶれた時、この悔しさを忘れないために描かせた絵と言われています。いくさに負けた悔しさ、これからどうしていけばよいかといった不安が、この絵から感じ取れます。その気持ちを忘れないために絵をえがかせたというのは、家康のすごさだと思います。さすが「人の一生は重き荷を背負いて遠き道を行くがごとし」と言いきった家康です。人生の実力は、事を成し遂げる勢いでも、成し遂げた結果でもありません。人生の3つの坂で、「上り坂」「下り坂」「まさか（真坂）」の場面で、たとえどのような状況となっても、その状況を幸せと思えることができるかどうかだと思います。人生の実力、それは今、目の前の状況を受け止め、自分が持っている力を発揮できるかどうかにかかっています。



虫の目（こだわり）鳥の目（ひろがり）

これから必要となる二つの目。皆さんには、虫の目と鳥の目をもってほしいと思います。

虫の目とは「こだわり」の目。部分を虫眼鏡で見ること。これは自分が興味をもったことを見つめ続ける目。物事をじっくり見て、こだわり続ける目だと思っています。何かにかざると人やものとのかかわりが生まれます。

鳥の目とは「ひろがり」の目。高い位置から全体を見ること。俯瞰の目。計画に対して見通しをもち、今どこに自分が立っているかを冷静に見る目。物事を大ざっぱにとらえ、様々な立場から考える目だと思っています。ひろがりをめざすと深まりのある取組ができると思います。

私はこの10年間『津島の達人ジュニア歴史検定・選手権』にこだわってきました。郷土愛を育てる教材として公式テキストを二回作りしました。出前授業を行ったり、ケーブルテレビで出前講座に出演したりしました。「郷土愛はふるさと検定から」を合言葉にしました。パソコンに向かい、歴史読本を書き、授業のためのプレゼンテーションを作成しました。津島市・あま市・愛西市・弥富市の歴史読本を作ることができました。『津島の達人ジュニア検定』を6回、『あま市ものしりジュニア検定』を4回行うことが出来ました。何かにかざるとかかわりが生まれ、思わぬひろがりや深まりにつながっていく。この事業はそんなことを私に教えてくれました。

絶望の隣は 希望です

アンパンマンはほかのヒーローと違う点があります。それは自分を犠牲にして、自分が傷つき、カッコ悪くなつてはじめて、まわりの人を幸せにすること、救うこと。正義を貫くためには、ヒーローは自分を犠牲にしなければならないということです。アンパンマンはバイキンマンをはじめ悪者と戦いますが、けっして悪者の命まではとりません。やっつける程度で終わるのです。ドキンちゃんやバイキンマンは悪者であると共に友達でもあるのです。アンパンマンはどんなにピンチとなっても決してあきらめず、まわりの人たちを幸せにするのです。

高知県にあるやなせさんの記念館でこんな素敵な詩を見つけました。

絶望のとなりに だれかが そっと腰掛けた
絶望は となりのひとにきいた
「あなたはいったいだれですか」
となりのひとはほほえんだ
「私の名前は 希望です」



どうかあきらめないで最後まで頑張り抜いて下さいね。